

第3回核兵器の人的影響に関する会議(概要と我が国の対応)

1. 会議概要

日時/場所: 2014年12月8日(月)～9日(火) / オーストリア(ウィーン)

参加国: 確認中(第1回会議には127か国等, 第2回会議には146か国等が参加)

内容: 人道上の観点から核兵器を議論することで, 核軍縮・不拡散の取組を前進させる機運を醸成する機会とするもの。核兵器の使用がもたらす様々な影響について, 専門家のプレゼンテーションとともに事実に基づく議論が行われる予定。

スケジュール: 12月8日	10:00～11:00	開会式
	11:00～12:00	セッション1a「核兵器爆発の影響」
	12:00～13:00	セッション1b「核実験の影響」
	14:45～16:15	セッション2「故意又は偶発的な核兵器使用のリスク要因」
	16:45～18:15	セッション3「核兵器使用等に関するシナリオ, 課題及び対処能力」
12月9日	9:30～11:00	セッション4「国際規範と核兵器の非人道的影響の鳥瞰図」
	11:30～18:00	一般討議(休憩あり)
	18:15	閉会式及び議長総括

2. 我が国の対応

○唯一の戦争被爆国として, 我が国はこれまで同会議に第1回より一貫して積極的に参加。今次会議においても, 自らの知見と経験に基づき議論に積極的に貢献する。

(第1回目: 2013年3月, ノルウェー政府主催 第2回目: 2014年2月, メキシコ政府主催)

○我が国代表団として以下8名を同会議に派遣する。

外務省職員4名(佐野利男軍縮会議日本政府代表部大使他), 星正治広島大学名誉教授, 朝長万左男日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長, 田中熙巳日本原水爆被害者団体協議会事務局長及び土田弥生日本原水爆禁止日本協議会事務局次長(通訳者)

○田中被団協事務局長は自らの被爆体験を一般討議で発言予定。星教授は放射線分野の専門的見地から, 発言する可能性あり。